

I 推 計 結 果

1 目的

本推計は、教育行政上の諸施策を企画立案するために必要な基礎数値を得ることを目的とし、昭和 31 年度から毎年実施している。

本年度は、令和 8 年度から令和 20 年度に至るまでの 13 年間の推計を行った。

2 概要

(1) 公立小学校児童数

公立小学校児童数は減少し、本年度実数である 593,428 人に比べて、令和 12 年度には 83,125 人減の 510,303 人となる見込みである。令和 20 年度には、本年度実数に比べて、130,980 人減の 462,448 人となる見込みである。

ア 区部では、本年度実数である 393,303 人に比べて、令和 12 年度には 54,718 人減の 338,585 人となる見込みである。令和 20 年度には、本年度実数に比べて、76,002 人減の 317,301 人となる見込みである。

イ 市町村部では、本年度実数である 200,125 人に比べて、令和 12 年度には 28,407 人減の 171,718 人となる見込みである。令和 20 年度には、本年度実数に比べて、54,978 人減の 145,147 人となる見込みである。

(2) 公立中学校生徒数

公立中学校生徒数は増加し、本年度実数である 233,981 人に比べて、令和 12 年度には 1,586 人増の 235,567 人となる見込みである。令和 20 年度には、本年度実数に比べて、53,911 人減の 180,070 人となる見込みである。

ア 区部では、本年度実数である 141,722 人に比べて、令和 12 年度には 3,390 人増の 145,112 人となる見込みである。令和 20 年度には、本年度実数に比べて、29,411 人減の 112,311 人となる見込みである。

イ 市町村部では、本年度実数である 92,259 人に比べて、令和 12 年度には 1,804 人減の 90,455 人となる見込みである。令和 20 年度には、本年度実数に比べて、24,500 人減の 67,759 人となる見込みである。

(3) 公立小学校 1 年生数

公立小学校 1 年生児童数は減少し、本年度実数である 93,532 人に比べて、令和 12 年度には 17,190 人減の 76,342 人となる見込みである。令和 20 年度には、本年度実数に比べて、15,159 人減の 78,373 人となる見込みである。

(4) 公立中学校 3 年生数

公立中学校 3 年生生徒数は増加し、本年度実数である 79,356 人に比べて、令和 12 年度には 1,950 人増の 81,306 人となる見込みである。令和 20 年度には、本年度実数に比べて、18,580 人減の 60,776 人となる見込みである。

(5) 出生数（各年度 4 月 1 日から 3 月 31 日までに生まれた幼児数）

出生数は、昭和 47 年度以降減少傾向が続いた後、平成 8 年度からほぼ横ばいに推移した。その後、平成 18 年度から増加傾向が続いたが、平成 28 年度に再び減少に転じた。今後は、同様の傾向が令和 7 年度まで続いた後、横ばいの傾向となる見込みである。